

## 参考：日本及び山喜農園の百合球根流通状況

(H29年3月14日付発行情勢報告をH29年4月10日に追加・修正) 当社輸入状況(南半球産) + (NL産 + FR産 + B産)

及び13年産～17年産百合球根弊社出荷状況及び予定

(単位：1,000球)

	12月出庫 (南半球産)+(NL産+FR産+B産)	1月出庫	2月出庫	3月出庫	4月出庫	5月出庫	6月出庫
13年産	(6,734) + ( 943)	2,028	2,464	3,418	3,762	3,159	3,513
14年産	(5,277) + ( 397)	1,695	2,448	3,090	3,800	3,232	3,582
15年産	(5,455) + ( 672)	2,016	1,995	3,030	3,670	2,965	3,280
16年産	(4,663) + ( 462)	1,310	2,309	2,789			
17年産	(4,782)						

13年～17年南半球産球根の出庫数は掘り取り年の9月～翌年12月末日までの合計出庫数です。

17年の南半球産の出庫数は入荷予定数。

	7月出庫	8月出庫	9月出庫	10月出庫	11月出庫	12月出庫	当社輸入量	
							合計1	合計2
13年産	4,163	3,003	1,519	216	185	90	35,201	33,744
14年産	4,107	2,832	971	328	171	63	32,001	32,179
15年産	4,102	2,151	1,488	459	293	115	31,785	30,992
16年産								
17年産								

(単位：1,000球)

参考	※日本の百合球根輸入量(推定)	
	※合計計算式1 (南半球産)+(NL産+FR産+B産)	※合計計算式2
13年産	(27,195) + ( 98,265) = 125,460	123,951
14年産	(25,686) + ( 95,112) = 120,798	120,691
15年産	(25,579) + ( 94,951) = 120,530	119,381
16年産	(24,430) + ( 45,166) = 69,596	
17年産	(24,530)	

(単位：1,000本)

※日本の百合切花輸入量(推定)	
13年	11,599
14年	8,022
15年	6,697
16年	6,328
17年	880

※日本のオランダ産(NL産)・フランス産(FR産)・ベルギー産(B産)百合球根輸入量は、植物防疫統計より参照(掘り取り年の12月～翌年11月までの入荷数)。

※16年産(NL産+FR産+B産)の輸入球数は、3月末までの植検対象球数。(昨年同期間比13.3%減、6,934,678球減少)  
(4月10日調べ)

※日本の南半球産の輸入量は植物防疫統計より参照(掘り取り年と入荷年同一)

2017年産南半球産百合球根の輸入予定球数は、N.Z産17,881,200球、CH産6,648,550球=24,529,950球。

(H29.3.15輸出業者からの聞き取り調査数)

O.H・O.T 23,002,750球(4.9%増加予定)、A.H・L.A 1,527,700球(39.0%減少予定)

2017年産の増減とは、前年2016年産輸出球数との比較。(H28.9.15輸出業者からの聞き取り調査数との比較。)

※2016年産南半球産O.H・O.T系の輸入球数には、やや過剰感があった。

しかしながら、日本の確保球数は、4.9%増加予定となっている。

例年の事ですが、掘り取り期作況結果により減少してくる予定。

A.H・L.Aでは、17年産南半球産だけではなく、16年産オランダ産も減少予定となっている。

北半球産16年産・南半球産17年産A.H・L.A系のトータル輸入球数が、30,000,000球をきる可能性が出てきている様です。

※合計計算式1：同一掘り取り年のNL産+FR産+B産+南半球産の輸入合計数

※月次の入荷量の動きは、当社Home pageに別途記載。

※合計計算式2：NL産+FR産+B産+翌年の南半球産の合計数

※日本の百合切花輸入量は植物防疫統計より参照(各年1月～12月までの植検対象本数)。

※17年の日本の百合切花輸入本数は3月末までの植検対象本数。(昨年同期間比64.1%増、343,902本増加)(4月10日調べ)

※各々の統計は速報値の為変更修正が入る場合がある。

※月次の入荷量の動きは、当社Home pageに別途記載。